

# とよしん

## 海外貿易投資ニュース

### 2015年3月の人口は1億1,953万人、5年で6.8%増—平均年齢27歳、若い人口構成—

メキシコ国立統計地理情報院(INEGI)は12月8日、国勢調査の中間時点で行う人口動態などに関する統計調査の結果を発表した。それによると、2015年3月15日時点の人口(推定値)は1億1,953万人となり、2010年比で6.8%増加した。平均年齢は27歳で依然として若い人口構成となっており、人口ボーナスのピークをこれから迎える。過去5年間で識字率や就学年数、健康保険カバー率など社会的な指標は改善しているが、所得水準の大幅な上昇はみられない。

#### <人口増加率は年率平均で1.4%>

INEGIは10年ごとに全数調査である国勢調査を実施し、人口や世帯、住居に関するさまざまなデータを収集し、発表している。最新の国勢調査は2010年に実施されたものだ。1995年以降、10年ごとの国勢調査の中間年において、調査項目を簡略化した中間調査(簡易調査)が行われており、1995年と2005年は全数調査で実施された。今回の中間調査は全数調査ではなく、610万の住居を対象に標本調査のかたちで実施された。ただし、標本の数(約3,200万戸)の5分の1に及ぶため、標本世帯が2万世帯弱の家計調査など他の標本調査と比べると、かなり精度が高い統計といえる。今回の中間調査の主な結果をみると、メキシコの2015年3月15日時点の人口は1億1,953万753人、そのうち男性が48.6%、女性が51.4%を占める(表1参照)。過去5年間の人口増加率は年率平均1.4%で、小数点1桁単位までみると2000~2010年の増加率と同率だった。合計特殊出生率は2.3と、5年前の2.4からわずかに減少した。少子高齢化の兆しがみられるが、そのスピードは比較的緩やかだ。平均年齢は27歳(2010年時点は26歳)と、依然として若い人口構成だ。就労可能人口(15~64歳)に占める従属人口(14歳以下および65歳以上)の比率は52.9%と、5年前の55.2%から2.3ポイント低下した。国家人口評議会(CONAPO)が2012年11月末に発表した報告書によると、従属比率が最も低くなる人口ボーナスのピークは2023年になる見込みだ。

#### <教育・医療環境は改善、所得の伸びは緩やか>

教育・医療などの社会指標をみると、2015年時点で15歳以上の人口の平均就学年数は9.1年となり、2010年比で0.5ポイント上昇した。大多数の国民が義務教育の9年を修了しているようだ。25歳以上の人口に占める高等専門学校や大学などの高等教育を受けた人口の比率は2015年に18.6%となり、5年前から1.0ポイント上昇した。ただし、OECD諸国の平均(2014

年)は33%[OECDの図表で見る教育(Education at a Glance 2015)]であるため、他国と比べると決して高い水準ではない。健康保険のカバー率は大きく上昇している。何らかの健康保険に加入している国民の比率は2015年に82.2%(約9,820万人)に達し、5年前と比較すると17.6ポイントも改善している。これは、社会保険庁(IMSS)や公務員社会保険庁(ISSSTE)などに加入していない非正規労働者や自営業者をカバーする健康保険として2000年代に導入された民衆保険(Seguro Popular)の普及拡大によるものだ。2015年時点で何らかの健康保険に加入している国民のうち、49.9%が民衆保険の加入者だ。他方、2015年の就業人口の所得水準別内訳をみると、2000年と比べて所得水準の上昇がみられるが、2010年と比較するとあまり改善していない。無報酬労働の比率は下がっているが、最低賃金の3倍を超える所得を得ている労働者の比率も32.7%から30.4%へと低下している。2015年に入り、実質賃金の回復がみられているが、本格的な所得水準の上昇はこれからといったところだ。

(次ページへ続く)

表1 国勢調査および2015年中間調査の主要結果

指標	2000年 国勢調査	2010年 国勢調査	2015年 中間調査
人口(1,000人)	97,114	111,955	119,531
人口増加率(%、注1)	1.9	1.4	1.4
平均年齢(歳)	22	26	27
従属比率(%、注2)	64.3	55.2	52.9
合計特殊出生率(女性1人当たり、人)	2.9	2.4	2.3
非識字率(%)	9.5	6.9	5.5
平均就学年数(年)	7.5	8.6	9.1
高等教育終了比率(%)	11.9	17.6	18.6
健康保険カバー率(%)	40.1	64.6	82.2
所得水準別就業人口内訳(%、注3)			
無報酬労働	10.1	7.7	3.0
最低賃金の2倍未満	42.0	31.0	34.4
最低賃金の2~3倍	17.4	20.8	22.5
最低賃金3倍超	25.4	32.7	30.4
住宅数(1,000戸)	21,943	28,608	31,950
1戸当たり居住者数(人)	4.4	3.9	3.7
財・サービスなどの普及率(%、注4)			
電気	95.0	97.8	98.7
水道	88.8	91.5	95.5
下水配管	78.1	90.3	93.2
テレビ	85.9	92.6	93.0
冷蔵庫	68.5	82.1	85.2
ラジオ	84.8	79.5	73.2
洗濯機	52.0	66.4	69.5
自動車・ピックアップトラック	32.5	44.2	43.5
固定電話	36.2	43.2	36.9
携帯電話	n.a.	65.1	78.6
コンピュータ	9.3	29.4	32.7
インターネット	n.a.	21.3	32.9

(注1) 2000年、2010年は過去10年間、2015年は過去5年間の年平均。  
(注2) 14歳以下および65歳以上の人口が15~64歳の人口に占める比率。  
(注3) 12歳以上の就業人口に占める無報酬就労者などの比率。  
(注4) 住宅全戸数に占める普及率。  
(出所) INEGIの2000年と2010年の国勢調査、2015年中間調査

前ページからの続き

＜インターネットの普及率は3割強に＞

各住居における財やサービスの普及率をみると、電気や上下水道の整備は一部の遠隔地農村を除けば、ほぼ全国に行き届いており、電気や水道が使えない住宅は少ない。テレビの普及率が93%に達している一方、冷蔵庫(85.2%)や洗濯機(69.5%)といった基本的な白物家電の普及はまだ拡大の余地がある。自動車の普及率は43.5%と、5年前(44.2%)から伸び悩んでいる。他方、携帯電話やインターネットなど情報通信技術(ICT)関連の普及は進んでいる。携帯電話の普及率は78.6%で、インターネットは32.9%に達している。インターネットの普及率は、過去5年間で10ポイント超拡大しているが、この背景には、電話、有料テレビ、インターネットをパッケージにしたトリプルプレイのサービスが、比較的安い価格で提供されることになった影響が大きい。なお、有料テレビサービスの普及率は40.6%と4割を超えている。

＜バヒオ地区でも所得水準や教育レベルに格差＞

2015年の調査結果から、日本企業の進出が多い主要州における社会人口統計指標を図および表2にまとめた。メキシコ市、第2の都市グアダハラがあるハリスコ州、第3の都市モンテレイがあるヌエボレオン州、対米輸出製造業が発達した北部国境の主要工業州(バハカリフォルニア州、コアウイラ州、チワワ州)の所得水準や生活環境、教育レベルは総じて高い。他方、自動車産業を中心に日本企業の進出が盛んな中央高原(通称「バヒオ」地区)の諸州を比べると、自動車部品、航空機部品、白物家電の3分野の工場が集積する工業州のケタラ州、日産自動車が生産工場を有し、自動車産業の発展が著しいアグアスカリエンテス州の所得水準や教育レベルが比較的高い。同じバヒオ地区でもグアナファト州やサンルイスポトシ州は相対的に遅れており、高等教育の終了比率をみると、これら2州は全国平均を下回っている。グアナファト州は今でこそ完成車メーカー4社が工場を持ち、トヨタも新工場建設を決めた自動車産業の一大集積地だが、歴史的にみると、農業と皮革履物などの軽工業が経済活動の主体を占めていたため、優秀なエンジニアや熟練労働者などの調達には苦慮することが多い。

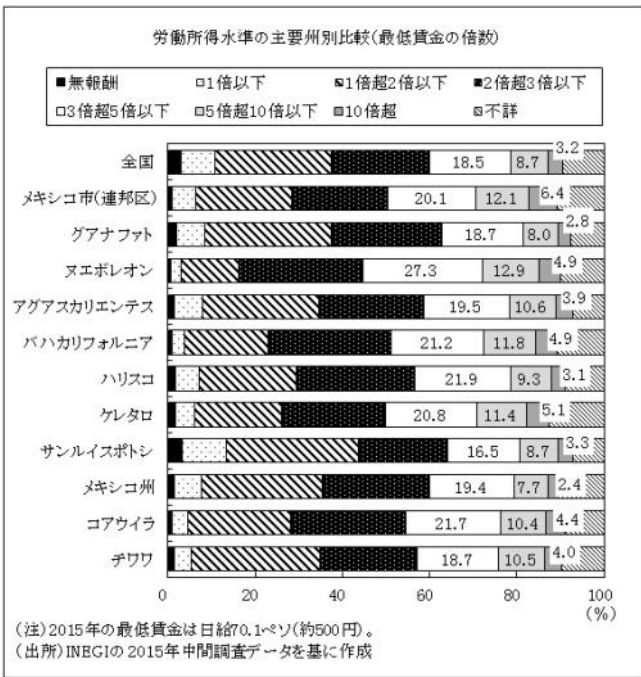


表2 社会人口統計指標の州別比較(2015年、進出日系企業が多い州)

指標	全国	メキシコ市	グアナファト	ヌエボレオン	アグアスカリエンテス	バハカリフォルニア
人口(1,000人)	119,531	8,919	5,854	5,120	1,313	3,316
平均年齢(歳)	27	33	26	28	25	27
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	61	5,967	191	80	234	46
住宅数(1,000戸)	31,950	2,601	1,443	1,394	335	968
ICT関連世帯普及率(%)						
インターネット	32.9	58.0	26.7	50.3	35.6	49.3
有料テレビ	40.6	44.1	36.2	50.8	48.1	57.2
コンピュータ	32.6	54.7	27.3	45.1	38.7	46.9
携帯電話	78.6	85.5	75.5	87.4	86.3	91.2
高等教育終了比率(%)	18.6	32.1	13.2	24.2	20.7	19.4
健康保険カバー率(%)	82.2	78.5	85.0	87.9	86.9	81.6
(参考) 日系企業数(社)	814	177	150	74	72	64
(参考) 在留邦人数(人)	9,186	3,278	1,208	648	831	159
指標						
	ハリスコ	ケタラ	サンルイスポトシ	メキシコ州	コアウイラ	チワワ
人口(1,000人)	7,845	2,038	2,718	16,188	2,955	3,557
平均年齢(歳)	27	26	27	28	27	27
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	99.8	174	45	724	20	14
住宅数(1,000戸)	2,060	534	710	4,168	809	1,034
ICT関連世帯普及率(%)						
インターネット	39.2	38.0	26.7	34.3	37.3	36.8
有料テレビ	47.4	51.0	43.0	30.0	45.6	41.1
コンピュータ	38.9	39.8	27.9	34.0	35.9	38.3
携帯電話	85.5	84.2	72.3	79.1	85.1	85.7
高等教育終了比率(%)	19.0	21.2	16.7	17.9	21.5	18.8
健康保険カバー率(%)	80.8	85.7	89.5	78.7	85.4	86.6
(参考) 日系企業数(社)	45	42	34	32	30	17
(参考) 在留邦人数(人)	527	358	131	461	144	93

(注) 日系企業数と在留邦人数は2014年10月時点。日系企業には日本人がメキシコで起業した企業を含む。  
(出所) INEGIおよび在メキシコ日本大使館発表データ(日系企業数、在留邦人数)を基に作成

(出所: ジェトロ通商弘報2015年12月15日 6cb132947557cdb5 「2015年3月の人口は1億1,953万人、5年で6.8%増—平均年齢27歳、若い人口構成—(メキシコ)」)

**！！外貨両替は弊庫へ 米ドルは全店で、17通貨は本店で取扱中！！**

次のセミナー等をご案内させていただきました。

セミナー等名称	開催地	主催者
アジアの日系工業団地説明会&個別相談会	名古屋	ジェトロ



国際業務部

〒471-8601  
愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213

URL <http://www.toyoshin.co.jp>